

中間報告書

平成30年4月1日から平成30年9月30日まで



■ 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、第151期の中間報告書（平成30年4月1日から平成30年9月30日まで）をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社グループは、「お客様のビジネスをサポートするグローバルな物流会社」としてお客様と共に成長することを基本方針とした「中期経営計画2018」の目標達成に取り組んでおります。その一環として、物流事業では、国内外における物流施設の増強による事業基盤の強化を図り、不動産事業では、既存施設の稼働率の維持・向上に努めるとともに、保有資産の再開発を進め、事業拡大を推進してまいりました。

今期は「中期経営計画2018」の最終年度となります。当社グループはソリューション提案型営業の徹底、高品質で多様な物流サービスの提供、事業規模拡大に向けた体制整備の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

当社といたしましては、当期の中間配当を前期と同様に1株につき7円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう引き続きお願い申し上げます。



安田倉庫株式会社
代表取締役社長

藤井 信行

平成30年12月

■ 事業の概況（連結）

当中間期における当社グループの業績は、前事業年度に新設した物流施設・ホテル及び商業施設ビルの本格稼働が寄与し、物流事業・不動産事業とも前年同期比で増収増益となりました。営業収益は前年同期比2,158百万円増（10.4%増）の22,946百万円、営業利益は前年同期比602百万円増（61.4%増）の1,583百万円、経常利益は前年同期比707百万円増（55.8%増）の1,974百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比445百万円増（53.1%増）の1,284百万円となりました。

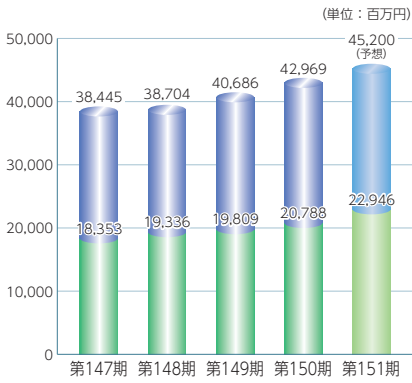
セグメントの業績は、次の通りです。

物流事業では、既存顧客の取引拡大や前事業年度に新設した物流施設の稼働により陸運料や倉庫作業料などで増収となったことに加え、前年同期には物流施設の新設に伴う租税公課があったこともあり、営業収益は前年同期比1,475百万円増（8.1%増）の19,722百万円、セグメント利益は前年同期比405百万円増（39.5%増）の1,430百万円となりました。

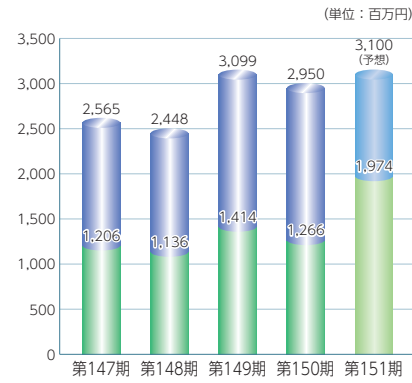
不動産事業では、前事業年度に竣工したホテル及び商業施設ビルの稼働による不動産賃貸料の増収などにより、営業収益は前年同期比811百万円増（28.9%増）の3,616百万円、セグメント利益は前年同期比164百万円増（18.7%増）の1,043百万円となりました。

ハイライト情報 (連結)

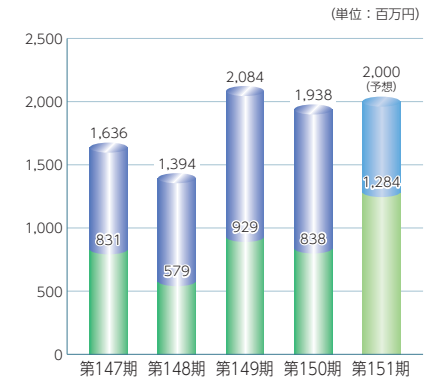
● 営業収益



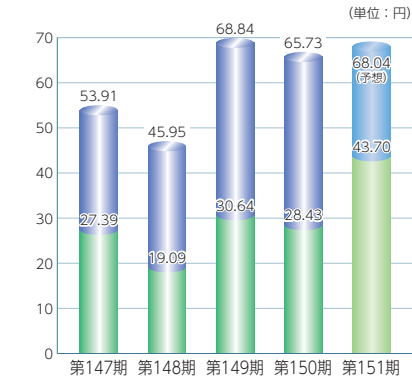
● 経常利益



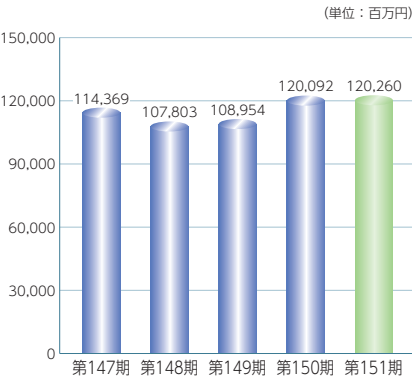
● 親会社株主に帰属する純利益



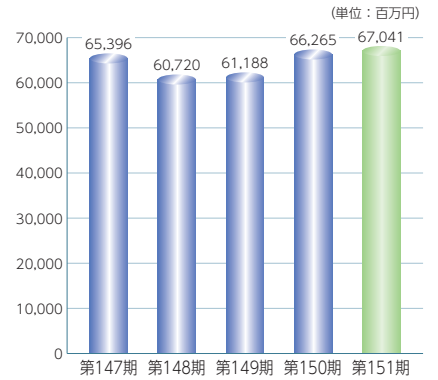
● 1株当たり純利益



● 総資産



● 純資産



(注) 1. 上記に記載した予想数値は、平成30年11月7日現在で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。
2. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を、当連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度以前に係る総資産の額については、当該会計基準等を遡って適用した後の金額となっております。

連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期末 平成30年9月30日現在	前期末 平成30年3月31日現在
資産の部		
流動資産	13,119	12,603
固定資産	107,141	107,488
有形固定資産	57,774	57,844
無形固定資産	2,734	2,752
投資その他の資産	46,632	46,891
資産合計	120,260	120,092
負債の部		
流動負債	15,274	15,593
固定負債	37,944	38,234
負債合計	53,219	53,827
純資産の部		
株主資本	37,860	36,781
その他の包括利益累計額	28,938	29,241
非支配株主持分	242	242
純資産合計	67,041	66,265
負債純資産合計	120,260	120,092

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期(累計) 平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで	前第2四半期(累計) 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで
営業収益	22,946	20,788
営業総利益	2,845	2,375
営業利益	1,583	981
経常利益	1,974	1,266
法人税等	580	406
四半期純利益	1,287	838
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,284	838

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期(累計) 平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで	前第2四半期(累計) 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,421	1,058
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,465	△3,428
財務活動によるキャッシュ・フロー	△627	1,801
現金及び現金同等物に係る換算差額	27	△13
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,356	△582
現金及び現金同等物の期首残高	4,876	3,897
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,232	3,315

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

詳細は、当社ホームページの「IRライブラリー」をご覧ください。

安田倉庫 IR

検索

■ 業績の見通し (連結)

当中間期の当社グループの業績は、陸送料や倉庫作業料を中心に物流事業が好調に推移し、また、業務の合理化が進んだこと及び施設修繕に関する費用の発生が第3四半期以降へずれ込んだことなどにより、営業収益、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益について公表予想を上回る結果となりました。

今後も依然として厳しい事業環境が続くことが予想されますが、当社グループは、物流事業においては、既存顧客の取引拡大及び新規顧客の誘致に注力し、また、不動産事業においては、既存施設の稼働率の維持・向上に努めてまいります。

なお、当社グループの通期業績見通しについては、上半期から下半期へずれ込んだ施設修繕などの実施や今後の見通しを勘案して、ハイライト情報(連結)(前掲)の通りとしております。平成30年5月9日公表の内容は変更していません。

■ トピックス

1. 上海市青浦区の「2号倉庫」が稼働しました

中国上海市青浦区の「2号倉庫」が稼働いたしました。昨年竣工した1号倉庫と合わせた倉庫面積は9,000坪を超え、階高も高く、様々な貨物に対応できる大型物流拠点です。上海市中心部より西約40kmに位置し、国内各地へのアクセスも良好で、物流拠点として最適の立地にあります。

3階建の倉庫には各区画に貨物用エレベータを設置し、また高床式・低床式プラットフォームを備え、保管・荷役において機能的な設計となっております。

当社グループでは、海外拠点の機能を活かしながら、今後も東アジア及び東南アジアにおける域内物流のサービスレベル向上に努めてまいります。

<施設概要>

敷地面積：38,169㎡ (11,546坪) (1号・2号倉庫共通)

倉庫面積：22,623㎡ (6,843坪) (参考：1号倉庫 7,933㎡ (2,399坪))



1号倉庫(右)と2号倉庫(左)

2. メディカル関連サービスの充実に取り組んでいます

当社は、メディカル分野におけるサービスメニュー拡充の一環として、体外診断用医薬品製造業の登録及び医薬品卸売販売業の許可を取得いたしました(適用事業所：メディカル物流ユニット東京物流センター)。

これにより、関連法令に定められた製品の納入から出荷までの全工程で、お客様がオペレーションに介することなく、当社で完結することが可能となりました。また、ISO13485(医療機器の品質マネジメントシステム規格)の適用範囲拡大に向け、新たに2拠点での認証取得も進めております。

お客様からのニーズにお応えすべく、今後もメディカル関連サービスの充実に取り組んでまいります。

3. 大阪府茨木市に「彩都倉庫」を開設しました

当社は、茨木営業所のサテライト倉庫として、大阪府茨木市に「彩都倉庫」を開設いたしました。大型物流施設の一角を利用した本拠点は、茨木営業所から近く、各高速道路へのアクセスも良好なエリアに位置しております。

お客様からの様々なニーズにお応えするため、諸条件を満たした利便性のよい物流拠点をご提案すべく検討を重ね、今般の開設に至りました。倉庫内にはタブレットを使用した入出庫受付システムを導入し、省力化を図るとともに、ドライバーの待ち時間を極力抑えた運営を行っております。

<施設概要>

倉庫面積：6,404㎡ (1,937坪)



会社の概況 (平成30年9月30日現在)

- 商号 安田倉庫株式会社
Yasuda Logistics Corporation
- 本店 東京都港区海岸三丁目3番8号
- 創立 1919年12月20日 (大正8年)
- 資本金 36億210万円

1. 当社グループの主要な事業内容

物流事業

倉庫業、貨物利用運送事業 (自動車、外航海運、航空)、
貨物運送事業 (自動車)、通関業、港湾運送事業

不動産事業

不動産業 (ビル、土地、駐車場等の開発、賃貸借、売買、
仲介、管理)

2. 当社グループの従業員の状況

連結従業員数 1,063名 (内、安田倉庫従業員数 397名)

3. 当社の取締役及び監査役

取締役会長 (代表取締役)	藤田 久行	取締役	鵜飼 徹
取締役社長 (代表取締役)	藤井 信行	取締役	細井 昌彦
常務取締役	小泉 眞吾	取締役	久保 信保
常務取締役	佐藤 一成	取締役	井福 正博
常務取締役	鷲谷 輝雄	常勤監査役	永野 明宏
常務取締役	小川 一成	常勤監査役	改田 昌三
取締役	武藤 博幸	監査役	米田 彰
取締役	松井 正	監査役	藤本 聡

(注) 1. 取締役久保 信保、井福 正博各氏は、社外取締役であります。
2. 監査役米田 彰、藤本 聡各氏は、社外監査役であります。

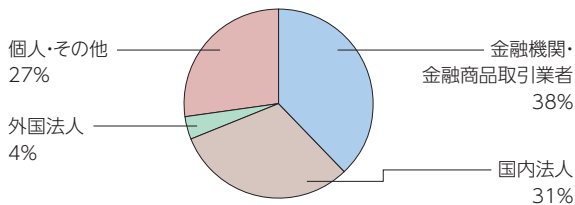
株式の状況 (平成30年9月30日現在)

■ 発行可能株式総数 1億1,850万株

■ 発行済株式の総数 3,036万株

■ 株主数 8,570名

所有者別株式数



大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	2,045	6.95
明治安田生命保険相互会社	1,604	5.45
東京建物株式会社	1,603	5.45
株式会社みずほ銀行	1,253	4.26
大成建設株式会社	1,252	4.25
東京海上日動火災保険株式会社	1,122	3.81
安田不動産株式会社	1,020	3.47
株式会社中央倉庫	982	3.34
ヒューリック株式会社	963	3.27
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	741	2.52

(注) 出資比率は自己株式(964,686株)を控除して計算しております。

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 同総会基準日 3月31日
その他、必要あるときは、取締役会の決議により
あらかじめ公告いたします。
- 配当金基準日 期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人 特別口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
- 公告方法 電子公告とし、当社ホームページ
<http://www.yasuda-soko.co.jp/ir/tabid/136/Default.aspx>に掲載いたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって
電子公告による公告をできない場合は、日本経済
新聞に掲載いたします。

お問い合わせ先

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続き お取扱い店 (住所変更、 株主配当金 受取り方法の 変更等)	お取引の証券会社等	みずほ証券 本店及び全国各支店 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 ※トラストラウンジではお取扱いできません のでご了承ください。
未払配当金の お支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続きお取扱い店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

ホームページのご案内

当社のHPでは、会社情報、IR情報等様々な最新情報を掲載しております。
ぜひ、ご覧ください。

<http://www.yasuda-soko.co.jp/>

安田倉庫

検索



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

